



令和2年度に向けて

松浜病院 病院長 小 熊 隆 夫

昨年5月に元号は令和になり、今年は待ちに待った2020年オリンピックイヤーです。4年に1度のスポーツの祭典が再び東京の地で開催されることは大変喜ばしいことと思います。9年前に大きな震災を経験した日本が「復興」の二文字を掲げて行うこの祭典は大変意義深いものと考えます。是非成功させて多くの人々が笑顔になることを期待しておりますが、昨年末より広がり始めた新型コロナウイルス感染症（COVID-19）が国内でも多数確認されている現状では、その開催も疑問視されているところです。また、経済活動や社会生活にもかなりの影響が出てきております。当院も医療機関としてできる協力をしながら、この国難が何とか早期に終息することと、オリンピック・パラリンピックの成功を願うばかりです。

さて、今年は2年に1度の診療報酬改定の年でも

あります。医療費の抑制は喫緊の課題ですが、今回の改定もその流れの中で、更に地域での包括的な医療・介護体制の確立を目指す内容となるように思います。当院では一昨年より開始している地域移行機能強化病棟を継続し、周辺地域の様々な施設との連携を深めながら、地域移行（入院医療中心から地域生活中心へ）を推進していきます。今後も社会や医療の動向を注視し、患者さまに寄り添い必要な医療とは何かを常に意識しながら、当院に関係する全ての人々の人権を尊重しつつ質の高い医療サービスを提供して患者さまやご家族、地域の皆さまから一層信頼される病院を目指します。今後も引き続きご家族や地域の皆さまのご理解とご協力を賜りたいと思っております。

なにとぞよろしくお願い申し上げます。

<松浜病院の中長期的展望>

- 1) 若手人材の確保と育成を行なう
- 2) チーム医療の推進と診療の質の向上を目指す
- 3) 栄養科施設を含めた新病棟の整備を行なう
- 4) 情報システム機能の円滑な運用を行なう
- 5) 外来機能を集約して外来部門として統合する
- 6) 急性期病棟を含め6病棟に再編する

<松浜病院の令和2年度目標>

- 1) 病診連携を強化するなどして、長期入院患者の退院促進を進め、地域移行機能強化病棟の安定的運用を図る
- 2) 適切な病床管理を行うとともに、チーム医療を通じて病床利用率及び回転率の向上を図る
- 3) 迅速で正確かつ安全に心がけ職務を実行する
- 4) より良い接遇を行い、患者サービスの向上を目指す
- 5) 職務中での経費、時間の節約と効率的な利用を行う
- 6) 若手人材の確保と育成を行うとともに、全職員の教育・技能向上を援助する



知っていますか？ 作業療法④

OCCUPATIONAL THERAPY

作業療法室 室長 近 英 樹

心の翼をご愛読いただき誠にありがとうございます。今回は人気のある「個人作業療法（個人OT）」を紹介いたします。外来及び開放病棟の入院患者さまを対象とし作業療法室（西）で行っています。革細工や陶芸、ガラス細工等の高度な物作りから、認知機能改善リハまで、その方に合わせた活動を行っています。個別対応ですので、無理にコミュニケーションを求められることなく自然で居心地のよい環境です。就労前の訓練や居場所作り、物作りに興味があるなど、いろいろな目的で皆さま来られます。



作業療法スタッフです^^

【参加されている皆さんから感想をいただいたのでご紹介いたします。】

- いろいろな面倒見てくれて、面接（就労）も一緒に来てくれて助かりました。(50歳代男性)
- 漫才のようなスタッフ（コンビ）がいて「大丈夫かなあ？」と心配しています。(60歳代女性)
- 最初、男性のユニフォームが枝豆と思ったけど、今は目に優しいと感じます。女性の色は美しいですね。(50歳代女性)
- 毎日来ることが楽しみです。生活の一部になっています。(40歳代女性)
- いろいろな創作を楽しく始められて新しい経験ができて新しい達成感が得られるので、何かを行う元気がもらえます。(40歳代男性)
- 会話を楽しみませんか？手芸・絵・好きなこと新しいことに挑戦してみませんか？(40歳代女性)

栄養指導について

栄養科 科長 堤 亜矢子

皆様は「栄養指導」という響きにどのようなイメージをお持ちでしょうか？「肉も卵も油もダメ、塩も砂糖もお酒ダメ」と好物を制限されて、寂しい気持ちにさせられそう…と敬遠される方も少なくありません。実際に、昔ながらの画一的な栄養指導で、長年続けた食習慣を変える事は、容易ではないと思われます。食習慣はその人の個性でもあるからです。

当院の栄養指導は、初回からじっくりと患者様ご自身の「食事のお話し」を聴かせていただく「寄り添い型栄養指導」です。「食」はその方の人生を反映し、日々の喜びに直結しています。皆様一人おひとりが大切にされている「食」への考え方を、管理栄養士がしっかりと受け止め、正しく共有する事が効果的な指導の第一歩と考えております。お話を充分にお聞かせいただいた上で、日本精神科医学会認定管理栄養士が、栄養・調理・薬膳等の観点から、無理なく続けられる食事療法のお手伝いをさせていただきます。当院にご通院中で糖尿病・脂質異常症・高度肥満症・通風等の疾病がある方はどうぞお気軽にご相談ください。



医療相談室から

こんにちは

※今回は『ひまわり会（通院患者様の会）』について紹介致します♪



『ひまわり会』は松浜病院に通院している方を対象とした当事者グループです。会員の意見を反映し、企画・運営を行っています。活動場所は総合福祉会館等です。会費はありませんが、お花見やぶどう狩り、茶話会、クリスマス会、カラオケ大会などを会員の皆様で楽しんでいます（行事ごとに数百円の参加費有り）。また年に数回『ひまわり会報』を発行し、ひまわり会の動向をお知らせしています。



↑こちらの写真は会員の皆様が集まって、ぶどう園に行ったときの写真です。ぶどうがたわわになっていて、美味しそうですね。

問い合わせ等がありましたら、ひまわり会事務局の土田または大久保までお願いします♪

松浜病院デイケアセンター『あっと歩夢』のご案内

デイケアでは、外来通院されている方を対象に、日中の活動の場として、様々なプログラムを行っております。規則正しい生活リズムや、日常生活上必要となる知識・技能、集団の中での対人関係を学び、地域で自分らしく生活することを目指しています。医師・看護師・臨床心理士・精神保健福祉士など多職種スタッフにより、患者様の社会復帰のお手伝いや日常生活のサポートを行っております。また、各種プログラムに加え、気分障害（うつ病）などの方を対象とした「リワーク」も行っております。

興味をお持ちの方や、見学を希望される方は主治医やケースワーカー、担当看護師にご相談ください。
なお、オープンデイケアとして見学会を行なっています。お気軽にお越しください。

スポーツ



体育館でバドミントンやテニス、ソフトバレー、ウォーキングなどをします。自分のペースで体を動かすことができますので、無理なく体力作りができます。

カラオケ



通信カラオケを導入しているため、最新曲も歌うことができます。大きな声で歌うことでストレスの発散になります。

調理／お菓子作り／カレーの日



リクエストに応じて、それぞれ月1回ほど行っています。調理・お菓子作りに関する知識や技能を習得することができます。趣味や実生活における幅が広がります。

各種勉強会



栄養士による「栄養士さんコーナー」や、ケースワーカーによる「社会情勢勉強会（SJB）」など、生活する上で役立つ情報などの提供をしています。

バス旅行



毎年春と秋に日帰りでバス旅行を行っています。これまで県外では会津や猪苗代、県内では弥彦、上越市水族館、三川観光きのご園などに行きました。

季節の行事



初詣や豆まき、ひなまつり、スイカ割り、バーベキュー、さんま＆芋煮会、クリスマス会など、季節ごとの行事も行っています。

<お問い合わせ先> 松浜病院デイケアセンター あっと歩夢 ☎ 025-258-8012 (直通)

看護部だより



1年経った現在の思い

東3病棟 山本 彩乃

看護師として東3病棟に配属され、もうすぐ1年が経とうとしています。先輩方からの温かい御指導を受けて、知識と経験を積み重ねながら過ごす日々は、あっといふ間の1年でした。

私が看護師を目指そうと思ったのは、看護補助者として本館2病棟で勤務をしていたときのことでした。ある患者様の容態が急変したときに、私は何も出来ずにただ立ち尽くすことしかできず、自分の無力さを痛感したと同時に悔しさを感じ、専門的な知識を身につけ看護師になろうと決意したのです。

実際に看護師として働いてみると、学校で学んだ知識と技術だけでは対処できないことが多く、日々の業務の中でまだまだ勉強していかなければならないことが沢山あります。看護技術はもちろんのこと、患者様への接し方や対応の仕方を先輩方から学び、個別性のある看護ができるよう患者様一人一人にしっかりと向き合って日々精進していきたいと思っています。



入社時を振り返り、今思うこと

病棟師長 伊藤 さゆり

四半世紀ほど前、雪深い田舎の高校で松浜病院の求人票を見つけました。その求人票は「看護助手求む！看護学校奨学金あり」と特徴のある手書きで書かれていました。

その求人票が縁で松浜病院に入社し、三交替看護補助業務を行いながら准看護学校へ通うことになりました。新潟には親戚や知り合いもなく生活環境にも慣れず心細かったことを覚えています。

精神障害や精神科病院について何にも知らず自信の無い私の支えになったのは一緒に入社した友人をはじめ温かく受け入れてくださった先輩の方々の存在でした。一番安心できたのは先輩方の笑顔でした。失敗を繰り返して沢山叱られました。その背景には後輩を育てようという愛情がありました。

現在も看護業務に初めて携わる看護補助者の方が多く入社してきます。きっと私が入社した時のように不安な気持ちでいる方も多いだろうと思います。その方々を今度は私が笑顔で迎えていきたいと思う今日この頃です。

松浜病院 外来診療担当表

(令和2年4月現在)

	月	火	水	木	金
精神科	小林	小熊	内藤	小林	小熊
	大学医師	佐々木	長谷川(精)	長谷川(精)	内藤
			大学医師	坂井	佐々木
内科	藤島		長谷川(勝)		藤島

【診療受付】 8:50~11:00 初診の方
(月)~(金) 8:50~11:30 再診の方

【休診日】 土・日曜日と祝日

【精神科の診療は予約制です】

診療をご希望の方は、電話などで前日までにご予約を入れてください。ご不明な点がございましたら医事課受付までお問い合わせください。

【予約やお問い合わせ先】

☎ 025-259-3241 (医事課)



奨学金制度のご案内

(看護師を志す学生の方へ)

松浜病院では将来看護師として松浜病院に勤務する意志のある看護学生に対して2種類の援助をしています。

①奨学金貸与

看護師養成施設(看護大学を含む)に在学する期間、月額8万円を貸与します。尚、資格取得後松浜病院に貸与期間と同じ期間勤務すると返済を免除します。

②学資金貸与

養成施設に在学する期間、月額4~6万円の学資金を貸し付けます。尚、この学資金分については松浜病院勤務後、元金のみ分割で返済していただきます。

上記①・②を併用すると月額最高14万円となり、勉学の助けになるものと思います。

詳細は、下記担当者にお問い合わせください。

(平日9:00~17:00)

担当: 松浜病院事務部長 野口

☎ 025-258-4501

注) 准看護師養成施設は、①の奨学金貸与制度は対象外です。

介護老人保健施設 松浜さくら園

松浜さくら園には一般棟と認知症棟の2つの入所フロアがあり、松浜病院の本館に併設されています。どちらのフロアも温かい言葉かけと優しいスキンシップ、安心・安全な看護・介護・リハビリテーションを目指し、日々ご利用者様と関わらせて頂いております。

一般棟と認知症棟の2つのフロアでは、理学療法士・作業療法士・言語聴覚士がそれぞれご利用者様の身体機能、認知機能の状態に合わせた個別リハビリテーションを行い、状態の維持・向上に努めています。また、外出・創作・料理などの集団リハビリテーションにも力を入れ、季節の行事も趣向を凝らして行っております。

イギリスのビバリッジ報告で有名な“ゆりかごから墓場まで”という言葉があります。さくら園としては、入所前から退所後まで利用者様とご家族様の支援をさせて頂いております。介護や制度等でお困りの事も多々あると思います。是非お気軽に声を掛けて頂き、相談をしながら、一緒に問題解決に向けて二人三脚で歩いていけたらと、常に心がけて相談援助を行っていますので、いつでも事務室にお立ち寄り下さい。

○お問い合わせ先

☎ 025-258-3993 (9:00~17:00)

FAX 025-258-3991

※お気軽にお問い合わせ下さい。

◎文字推理

□にひらがなを入れて、文章を完成させましょう。ただし、同じ数字の□には同じひらがなが入ります。

- 冷めた食事は電子①ンジであたためる
- ②③は大きい石のかたまり
- ①②をして感謝を伝える

答え ① ② ③

※ 解答は編集後記の下にあります。

編集後記

心の翼第15号が完成しました。今年は東京五輪が開催します。日本選手の活躍を期待せずにはいられませんが、五輪は平和の祭典でもあります。緊張高まる世界情勢が緩和と融和、そして協調へと向かってほしいと切に願うばかりです。

心の翼で松浜病院・松浜さくら園の活動を広く知ってもらい、みなさまと一緒に患者さま、利用者さまの明るい未来づくりに邁進します。今後ともよろしくお祈りします。

編集発行 松浜病院 広報委員会

☎ 025-258-8009

㊦㊧㊨ (景梅) 画報志本◎